

# 学級担任用手引き（簡易版）

## 【実施前】

□保護者宛て通知を印刷・配付

□「教職員用手引き」で調査の目的や進め方等を確認する。

※事前に校内で説明会や学習会を持ち、実施の目的や方法について共通理解を図る。

□児童生徒の実態に応じて「こころのサポート授業」を選択する。

※参考【資料①－１】～【資料①－７】

□配付資料等の印刷・確認をする

(1) 心とからだの健康観察(19 項目版、または 31 項目版)

(2) リーフレット「こんなときにやってみよう」(19 項目版、または 31 項目版)

(3) 【資料④】「この授業のまとめ」

□実施が困難な児童生徒の確認【重要】

## 【実施中】

□「こころのサポート授業」指導案を参考にして実施する。

□授業の最初に【資料③】「心とからだの健康観察をする前に」を読み上げる。

□「心とからだの健康観察」用紙の記入の仕方を説明する。

□授業の最後で【資料④】「この授業のまとめ」を配付し、読み上げる。

## 【実施後】

□「心とからだの健康観察」用紙を回収する。

※記入したことが周囲の児童生徒から見えないように、担任が回って集める。

□氏名等の記入漏れの確認と先生記入欄の記入をする。

※担任が分かる範囲で記入する。児童生徒に直接尋ねることはしない。

□高得点の児童生徒のチェックと自由記述欄に書かれている内容を確認する。

※高得点【19 項目版】6 点以上      【31 項目版】9 点以上

□【19 項目版】質問番号 19「だれかに話をきいてもらいたい」を確認し、個別に話を聞く時間を適宜設定する。

□【31 項目版】質問番号 27「だれかに話をきいてもらいたい」を確認し、面談につなげる。

□児童生徒が記入した用紙を複写するなどして、結果が返送されるまでの間、個人面談で活用する。

□高得点の児童生徒を優先的に個人面談を実施する

※参照【資料⑤】「個人面談の方法について」

## 【個票返却後】

□個人情報の保護に留意しながら、担任だけでなく管理職や教育相談担当、S C 等、関係教職員が結果を活用しやすいように保管する。

□中長期的な分析を行い、個々の状況に応じて、支援を継続する。

※参照「心とからだの健康観察学校保管児童生徒個票の読み取り方」